

複数施設研究用**研究課題【機械学習を用いた、内視鏡下経鼻下垂体腫瘍摘出術後の低 Na 血症に関する研究】に関する情報公開****1. 研究の対象**

2012年1月1日から2021年10月31日までに名古屋大学医学部附属病院または日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 脳神経外科で下垂体腺腫に対して経鼻内視鏡手術を実施された方。

2. 研究目的・方法・研究期間

下垂体腺腫とは下垂体部に発生する良性腫瘍であり、神経内視鏡を用いて鼻腔を経由した手術を行うことが多いです。下垂体腫瘍を摘出すると、術後1週間ほどで血液中のナトリウムが低下することがあり、それにより突然痙攣や意識障害を起こしたりなど重篤な合併症が生じることがあります。これまでの研究では、どのような方に低ナトリウム血症が起こるのかについての解明はごく一部にとどまっています。近年医学分野に応用されている機械学習の技術を用いると、術後早期の段階で低ナトリウム血症の発症を予測できる可能性があると考えております。早期予測が実現すれば、術後低 Na 血症を有効に予防または早期治療を行うことに繋がり、重篤な合併症を回避できることが期待されます。診療情報から病気の名前や手術の方法、入院期間中の血液検査データなどの項目を収集し検討を行います。研究期間は実施承認日より2026年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より原疾患、術式、病理診断、頭部画像などを収集します。また、手術動画を収集します。本研究で収集した情報については、研究終了後10年間保管し、その後破棄いたします。本研究で収集した情報をほかの研究に使用する可能性があります。

4. 外部への試料・情報の提供

拠点施設（名古屋大学大学院医学系研究科脳神経病態制御学講座脳神経外科学）への情報提供は、エクセルファイルと画像データを保存した記録媒体を研究責任者または研究分担者が持ち運ぶことにより行います。匿名化後の対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究機関：名古屋大学医学系研究科 脳神経外科 齋藤 竜太

既存情報の提供のみを行う機関：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 脳神経外科

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：名古屋大学医学系研究科脳神経外科 齋藤 竜太

電話番号：052-744-2353

住所：愛知県名古屋市昭和区鶴舞町6-5 名古屋大学脳神経外科医局

研究代表者：名古屋大学医学系研究科脳神経外科 齋藤 竜太

苦情の受付先：名古屋大学医学部経営企画課

電話番号：052-744-2479

<当院の連絡先>

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 脳神経外科 永谷 哲也

電話番号：052-832-1121（代表）

住所：愛知県名古屋市昭和区妙見町2-9